

**製品名: PODXL (13I5) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe16338**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.48mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:100-1:200
分子量	59kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PODXL
別名	Gp2; Gp200; PC; PCLP; PCLP1; Pcx; Podocalyxin; Podocalyxin like; Podocalyxin-like protein 1; Podxl;
遺伝子 ID	5420.0
SwissProt ID	O00592
免疫原	ヒト PODXL の組み換えタンパク質

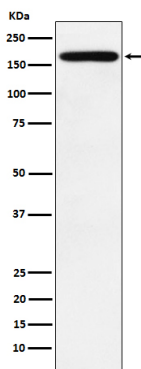
## 背景

接着と細胞形態、そして癌の進行の両方の調節に関与する。ポドサイト中の隣接する足突起間の開いた濾過経路を電荷反発によって維持する抗接着分子として機能する。接着と細胞形態、そして癌の進行の両方の調節に関与する。ポドサイト中の隣接する足突起間の開いた濾過経路を電荷反発によって維持する抗接着分子として機能する。接着促進分子として作用し、固定化リガンドへの細胞の接着を促進し、インテグリン依存的に遊走速度と細胞間接触を増加させる。頂端アクチン依存性微絨毛の形成を誘導する。腎尿管形成中に、初期の上皮分極と頂端腔形成を確立するための頂端前細胞膜サブドメインの形成に関与する。アクチン結合タンパク質 EZR との相互作用を介して細胞遊走と浸潤を誘導することにより、癌の発生と悪性度に関与する。EZR 依存性シグナル伝達イベントに影響を及ぼし、癌細胞における MAPK および PI3K 経路の活性を増加させます。

## 研究分野

-

## 画像データ



HeLa 細胞溶解物における PODXL 発現のウェスタンブロット分析。